

神奈川歯科大学歯学部病理・組織形態学講座

環境病理学分野

教授 槻木 恵一

<沿革の概要>

神奈川歯科大学設立当初、病理学講座は久田太郎先生（慶應大学医学部）、口腔病理講座は三沢捨雄先生（日本歯科大学）が教授として教室を主宰されたが、三沢教授の定年退職により、病理学講座として1講座に再編された。久田太郎先生が学長、さらに理事長に着任したため久田病理の助教授である渡邊是久先生（日本歯科大学）が主任教授として久田病理を引き継いだ。渡邊病理では、教育研究だけでなく、診断業務にも発展があり神奈川歯科大学附属病院に全国で初の病理診断科が設立され、窪田展久講師（職階は当時、18回生）が科長として着任した。さらに、横浜研修センター横浜クリニック検査科病理に伊藤由美講師が科長として着任した（職階は当時、16回生、後に、鶴見大学歯学部附属病院病理診断科長）。渡邊是久先生の退職により、渡邊病理の准教授である槻木恵一（24回生）が教室代表を1年担った後に、主任教授として渡邊病理を引き継いだ。また、それに先立ち窪田展久講師は臨床教授（後に診療科教授）に昇格された。

以上の様に、病理学の教育研究・診断業務は、久田病理、渡邊病理、槻木病理と連続と受け継がれています。

<ひとびと>

1. 久田病理 昭和40年10月から平成元年3月まで（敬称略）

大学院生として、渡邊宣孝（6回生）、古川協（7回生）、三木慎一郎（7回生）、斎藤一人（8回生）、井口雅夫（8回生）、小篠一雄（9回生）、馬場真二郎（9回生）、清水洋子（10回生）、近藤功（11回生）、窪田展久が在籍した。さらに、退任時には、渡邊是久助教授、小園知講師、佐藤一芳講師、伊藤由美助手が医局員として教室を支えた（職階は当時）。

2. 渡邊病理 平成元年4月から平成18年3月まで

大学院生として、山口由加里（22回生）、槻木恵一

（24回生）、今泉智子（28回生）、山本貴之（29回生）、鈴木健太郎（31回生）、矢毛石真由美（33回生）が在籍した。さらに、窪田展久（18回生）、今井善子（22回生）、三好代志子（22回生）、神部栄（25回生）、槻木恵一の順番で助手として新規採用され医局を支えた。

3. 槻木病理 平成19年4月より現在

大学院生として環境病理学分野に在籍したのは、森裕介（東北大学）、武藤徳子（34回生、歯髄生物学准教授）、椎木直人（36回生）、近藤裕介（38回生、東海大学医学部講師）、松木千紗（歯科衛生士）、東雅啓（40回生、歯科形態学准教授）、清水智子（40回生、高度先進インプラント歯周病学分野助教）、杉山弘起（40回生）、川嶋理恵（日本歯科大学、自治医科大学歯科口腔外科）、林隆司（42回生）、山本裕子（短大准教授、歯科衛生士）、井出桃（短大特任教授、歯科衛生士）、栗本勇輝（横浜国立大学、総合歯学教育学講座助教）、中川裕介（40回生）、藤野和弘（20回生）、長崎真子（45回生）、坂口和歌子（36回生、病理学講師）、菊池越夫（47回生）、天野理江（鶴見大学短大助手）、田宮潤（24回生）の18名である。また、歯科矯正学分野（佐藤矯正）から武内美文、加藤桃子が猿田樹理准教授（職階は当時）の指導で学位を取得した。論文博士としては、山田好江（松本歯科大学）、長澤孝二（日本歯科大学）、眞鍋慶（日本歯科大学）、鎌田要平（33回生、高度先進インプラント歯周病学分野講師）、杉本昌弘（東京医科大学教授）、牧野莉穂（ライオン口腔科学研究所）、石井滋（47回生、高度先進口腔外科学分野助手）が歯学博士を取得した。

また、令和2年に教育企画部教授に猿田樹理先生（33回生）は、平成23年4月に歯科矯正学分野から環境病理学分野へ移動し、講師、准教授と昇格し、令和2年4月に歯学部教育企画部教授に就任した。さらに、同年新設された、口腔病理診断学分野診療科教授に窪

田展久准教授が栄転された。現在、環境病理学分野は、坂口和歌子講師が在籍している。

なお、特別研究員（現在の所属）は、ウジャー・バワール（パキスタン、日本大学松戸歯学部）、矢毛石真由美（33回生、横須賀共済病院病理部・副部長）、佐藤允俊（36回生、高度先進歯科矯正学分野助教）、近藤裕介、東雅啓、宮本阿礼（昭和大学歯学部）の以上6名が在籍した。

<現在の病理学分野の概要>

教育

歯学部：1年生災害歯科医学、歯科医学史、2年生病因病態Ⅱ、3年生歯科疾患の病態、唾液腺基礎学の

教育を担っている。その他、4年総合歯科学、5年臨床実習Ⅰ、6年生臨床実習Ⅱも分担している。短期大学部：歯科衛生学科で病理学を担当している。

研究

唾液腺の全身への影響についての新しい生理機能を見出し、環境因子によるその生理機能異常が及ぼす新たな病態形成メカニズムの解明と予防法の開発を目指す環境病理学を主に進めている。

臨床

附属病院病理診断科の診断業務を窪田診療科教授が、横浜クリニックを槻木教授が担当しており、2つの医療機関で1,200件以上の診断を行っている。



研究合宿（葉山）